



みんなで取り組む

安全・安心まちづくり
奈良県

安全・安心まちづくりシンボルマーク
奈良の「な」をモチーフに、安全で安心な「まち」奈良で、家族や地域の方と笑顔で楽しく暮らす姿をイメージしています。

だれもが安全・ 安心に暮らせる まちづくり

特集



熱心に消火訓練をする子どもたち



地震体験 机の脚につかまることが大切



香芝市立真美ヶ丘東小学校 登校のようす

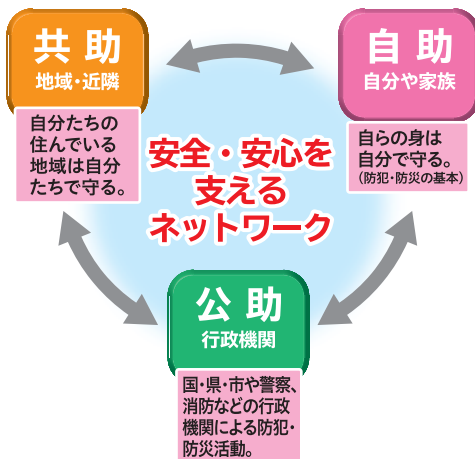


あいさつ・声かけ運動「チャレンジ絆」

地域の絆を強めてすみよい まちづくりを

地震や大雨などの災害、盗難などの犯罪、交通事故など、だれも見舞われる可能性があります。皆さんにとって「安全・安心なまち」とは、一体どのようなものでしょうか？

県では、災害、犯罪などの被害を減らし、だれもが安全で安心して暮らしていくには、自分や家族の身は自分たちで守ること（自助）を基本に、地域住民が共に支え合うこと（共助）と、行政機関が行う防犯・防災活動（公助）が大切であると考えています。



今回は、安全・安心なまちづくりのために、地域で行われている**防犯 防災・交通安全**の取り組みについて、紹介します。

モデル地区ではこんな活動をしています!

広報啓発活動



▲振り込め詐欺被害防止広報啓発活動

夜間パトロール



▲夜間パトロール
近鉄前栽駅前駐輪場の自転車・オートバイ盗が減りました!

防犯カメラの設置



▲駐輪場に防犯カメラを設置しました

地域安全マップづくり



▲まずマップづくりからはじめましょう

ここ数年、県内全犯罪のうち、いわゆる入口犯罪が4割を占めています。このような犯罪を地域の中で見逃さないことが、地域のモラルを向上させ、より凶悪な犯罪を防ぐことにもつながります。

県では、地域の防犯力を高めるために、今年度から「地域防犯重点モデル地区事業」をスタートしました。モデル地区では、地元住民が主体となって、市町村やPTAも加わり地区防犯協議会を立ち上げて、自主防犯活動に取り組み、防犯環境の向上に努めています。

地域防犯重点モデル地区(平成25年度)

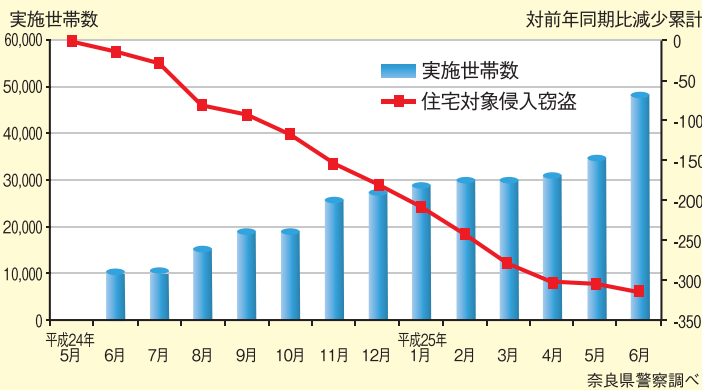
市町	地区
天理市	前栽地区
生駒市	鹿ノ台・さつき台南地区
大和高田市	片塩商店街地区
王寺町	久度地区

入口犯罪って?

自転車・オートバイ盗、万引きなど、モラルの低下が原因で発生する犯罪です。放置すれば、強盗などの凶悪犯罪につながるといわれています。

あいさつ・声かけ運動「チャレンジ“絆”」

チャレンジ“絆”の拡大状況と住宅対象侵入窃盗の推移



県内での住宅対象侵入窃盗は、運動を開始した平成24年6月以降、大幅に減少しており、全国的にみても、平成25年上半年「増減数」第6位、「増減率」第2位と高順位となっています。実施世帯数は、平成25年11月末現在で、163地区約98,000世帯に拡大しています。



▲ちびっ子ポリスによるのぼり旗の設置(奈良市朱雀地区)



▲葛城市尺土地区の取組状況

実施地区での取り組み

- 防犯シートとのぼり旗によるエリア明示
- 防犯講習会の開催
- 防犯診断の実施
- タイムリーな情報発信活動

警察では、運動に取り組む地区への支援を行っていますので、最寄りの警察署まで気軽に相談ください。

奈良県警察では、住宅対象侵入窃盗防止を目的とした、あいさつ・声かけ運動「チャレンジ“絆”」を推進しています。

この運動は、地域の防犯力を高めるため、防犯シートを門扉に、のぼり旗を地区内に掲げて、住民同士がお互いにあいさつを行い、連帯意識や絆を深めて、見知らぬ人には声かけを行って、犯罪者が入り込みにくい地域をつくることを目指しています。

自主防災活動の取り組み



▲防災マップづくり
防災士の助言を得ながら、自分の住んでいる地域の地図に防災資源(ヒト・モノ)や危険箇所を記入していきます。



▲バケツリレーにもコツがあります。そのコツを知るには訓練での実践が一番の早道です。

災害時には、

- 日頃からやっていることしかできない。
- 日頃やりなれていることも満足にできない。
- 日頃やっていないことは絶対にできない。

とされています。日頃から訓練や備えをしておきましょう!



▲避難所での負傷者の救護訓練のようす。訓練をとおして避難所をイメージし、実際に被災したときに備えましょう。

東日本大震災や紀伊半島大水害を教訓として、県内でも自治会や自主防災組織など住民の皆さんが主体となって防災訓練を行う地域が最近増えてきています。県では、防災訓練を推奨するとともに、支援や助言を行っています。

災害時は、その規模が大きくなればなるほど「自分の身は自分で守る、地域の安全は地域で守る」ことが大切です。皆さんも積極的に訓練に参加してください。

あなたも地域のリーダーに!



▲自主防災・防災リーダー研修 救命救急の実技講習のようす(王寺町・アリーナ)

地域の防災力を高めるためには、核になる担い手が重要です。県では、毎年「リーダー研修」を行い、修了された方々に地域のリーダーとして活躍いただくことを期待しています。研修の全日程を修了された方は、日本防災士機構の防災士の受験資格が得られます。



▲地域の子どもたちも熱心にロープワークの指導を受けます。(桜井市 朝倉台)

安全・安心まちづくり アドバイザーからの ワンポイントアドバイス

近年発生した大きな地震で何がをした原因を調べると、30%~50%の人が、家具類の転倒・落下によるものでした。

だれでも簡単にできますので家具・家電製品等の転倒、飛来・落下防止対策に早速取りかかりましょう。



▲空き缶を使って炊飯
アドバイザーの方々は日々防災知識・技術を研鑽され、災害時に役立つ知識を教えてください。

自治会や自主防災団体・自主防災組織などが行う研修・訓練などに、県の「安全・安心まちづくりアドバイザー」を派遣して、さまざま支援や助言を行っています。

自主防災・防災についてお悩みやお困りのときは、気軽に県安全・安心まちづくり推進課までお問い合わせください。

県からアドバイザーを派遣します

主な取り組み

- **見守り活動**
地域の方々と構成される学校安全ボランティアによる見守り活動の推進を図っています。
- **ゾーン30**
通学路を含む生活道路で歩行者などを車から守るため、一定の区域を定めて時速30kmの区域規制などを進めています。
- **歩道などの整備**
歩道の設置・拡幅や区画線の設置、カラー舗装などに取り組んでいます。



◀生駒市桜ヶ丘小南ゾーンでの「ゾーン30」の表示状況。



▲「川西町見守り隊」による見守り活動。自治会間でも連携を図り、登下校時の子どもたちの引率などを行います。

交通安全母の会は、小・中学校に通う児童生徒の母親などで構成され、「交通安全は家庭から」をモットーに、交通安全教室や交通安全指導など、各市町村で地元密着の交通安全活動を行っています。県では、交通安全母の会を支援し、交通事故のない明るい社会の実現に向けて共に頑張っています。

○ **交通安全母の会**
交通安全母の会は、小・中学校に通う児童生徒の母親などで構成され、「交通安全は家庭から」をモットーに、交通安全教室や交通安全指導など、各市町村で地元密着の交通安全活動を行っています。県では、交通安全母の会を支援し、交通事故のない明るい社会の実現に向けて共に頑張っています。

○安全な通学路を

通学路は、子どもたちにとって学校と家庭を結ぶ大切な道路です。

県では、安全な通学路確保のため、市町村と連携して望ましい通学路のあり方を検討し、さまざまな取り組みを行っています。

お父さん、お母さんへのメッセージ

奈良県トラック協会と協力して、県内の危険な箇所にはストップマークを貼り付けています。

お子さんと一緒に散歩しながら、ストップマークを見つけて、楽しく交通安全について教えてあげてください。



危険な場所にはストップマークを貼ろう！

▲母の会と子どもたちでストップマークを設置しました。

- 見守り活動について 県 保健体育課 ☎0742-27-9862
- 交通規制について 県 警交通規制課 ☎0742-23-0110(内線5174)
- 歩道などの整備について 県 道路環境課 ☎0742-27-7496

- FAX 0742-22-3995
- FAX 0742-27-5339

交通安全ビデオを貸し出しています

県では、幼稚園や保育所などでの交通安全教室や企業の従業員研修で利用できる交通安全啓発ビデオ・DVDの無料貸し出しを行っています。ぜひご活用ください。



▲小・中学生向け、一般ドライバー向け、高齢者向けなど幅広く取り揃えています。

新規登録事業所も募集中です！

ご存じですか？サポート事業所



▲百貨店の屋上での交通安全イベントの様子



▲交通安全サポート事業所での従業員向け安全運転講習会の様子

県では、地域の皆さんや行政と協力して地域の安全活動に取り組んでいただける企業、事業所、団体を交通安全サポート事業所や地域防犯サポート事業所として登録しています。

交通安全では97、防犯では70の事業所が県に登録されています。運送・郵便業者による配達時の道路状況の確認や各戸への啓発チラシの配布、スーパー・小売店による防犯・交通安全イベントの実施、店内スポット放送など、地域の安全安心のため、事業所ごとに特色のある活動を行っています。



知事から
ひとこと
県では、安全・安心な防災・防犯環境づくりをめざしています。
台風や地震などの災害や、犯罪の被害を想定した実践的な訓練に、できるだけ多くの住民に積極的に参加いただき、地域で助けあえる組織力、「絆」がさらに広がることを期待しています。



▲今年度から地域防犯サポート事業所登録制度を立ち上げ、11月12日に第1回登録証交付式を実施しました。



▲9月3日に行われた第1回交通安全サポート事業所懇談会。有識者の講演・事業所による事例発表・グループ懇談を通じて、効果的な地域貢献活動のノウハウを共有しました。